

平成20年度 兵庫県立姫路工業高等学校評価シート<学校関係者>

学校評価の目的	学校の自主性・自律性が高まる中で、学校教育活動全般について客観的・総合的に成果を検証し、学校運営の改善を図る。 学校教育活動の成果を公表することで、学校としての説明責任を果たし、更に家庭や地域との連携・協力体制を推進する。
学校教育の目標	「知・徳・体」の調和のとれた人格形成を図り、美しい兵庫・学校を目指し、「志」を抱き未来を切り拓く心豊かな人づくりの育成を図る。 社会の変化や科学技術の進展に、主体的かつ柔軟に対応できる創造性が豊かで、実践的・行動的な技術者の育成を図る。

領域	評価の観点	評価項目	全くその通り (%)	その通り (%)	わからない (%)	そうは思わない (%)
学校運営	開かれた学校づくり	学校の教育方針や教育目標は、明確でわかりやすく設定している。	67	33		
		学校は設定した教育方針や教育目標を具体的に実践している。	67	33		
		学校は特色ある具体的な取り組みを、公開・説明し公表している。	56	33	11	
生徒指導		生徒は明るく元気で、ルールやマナーをよく守っている。	67	22	11	
課題教育	行事・諸活動	学校は教育活動の成果と課題を明確に分析している。	33	45	22	
		学校は次年度の改善プランを明確にしている。	22	45	33	
	その他	姫路工業高校の好感度は高い。	78	22		
		学校に対する地域社会の評価は、たいへん高く大いに期待している。	67	33		

番号	具体的な改善策等
	設定した目標に対する評価基準をより明確化する。 良好な基本的な生活習慣をより一層進め、社会に通用する自主性を養う。 課題を整理し生徒と職員が今後の対策を共通認識する。 本校に対する好感度は高いが、更に職員自身が専門性を高める努力を行う。 地域社会との連携については高い評価を得ているが、満足することなく新しい取り組みを行う。 公開授業等を充実させ、より開かれた学校づくりを行う。 良好な教育環境、「人づくり」をより前面に出し特色化を図る。

平成20年度 兵庫県立姫路工業高等学校評価

学校評価の目的	学校の自主性・自律性が高まる中で、学校教育活動全般について客観的・総合的に成果を検証し学校運営の改善 学校教育活動の成果を公表することで学校としての説明責任を果たし、更に家庭や地域との連携・協力体制を推進する。
学校教育の目標	「知・徳・体」の調和のとれた人格形成を図り、美しい兵庫・学校を目指し、「志」を抱き未来を切り拓く心豊かな人づくりの育成を図る。 社会の変化や科学技術の進展に、主体的かつ柔軟に対応できる創造性が豊かで実践的・行動的な技術者の育成を図る。

領域	評価の観点	No	評価項目	回答者	全くその通り (%)	その通り (%)	わからない (%)	そうは思わない (%)
学校運営	開かれた学校づくり	1	学校のホームページや各部・学年通信等により、生徒・保護者に指導方針や教育活動等の学校情報を提供している。	教師	68	29	1	2
		2	学校公開・中学校訪問・学校説明会等を計画的に実施し、地域に開かれた学校づくりに努めている。	教師	68	30	1	1
		3	学校評議員会やPTA懇談会等からの意見や評価を公表し、授業をはじめとする学校運営の改善に役立てている。	教師	18	51	21	10
	生徒指導	4	全職員が情報を共有するとともに、生徒の内面を理解する教育的指導を心掛けている。	教師	21	68	5	6
		5	校則や社会的なマナー・モラルについて、きめ細かい指導を行っている。	教師	40	52	1	7
		6	生徒会活動・部活動の活性化に向けて生徒の能力・興味・関心を引き出すとともに、活動に対する組織的な支援を行っている。	教師	31	60	5	4
	教育相談	7	キャンパスカウンセリングを定期的実施するとともに、生徒の内面を理解するための教育相談に関する研修会を行っている。	教師	33	62	1	4
	進路指導	8	3年間の進路指導計画に基づき、進路指導部を中心に全職員が連携し、組織的・継続的にきめ細かい進路指導を実施している。	教師	16	53	10	21
		9	生徒・保護者へのキャリア講演会の開催やキャリア情報の提供を行い、生徒の職業観・勤労観を高めるように努めている。	教師	24	66	5	5
	教職員の資質向上	10	教師間での教材研究や授業公開・授業アンケートを行い、授業の在り方について工夫・改善を行っている。	教師	12	56	11	21
		11	教職員のスキルアップのために、校内・校外の研修を組織的に企画し推進している。	教師	14	57	9	20
	危機管理体制の整備	12	生徒・教職員が安全かつ安心して学校生活を送れるよう、家庭・地域・関係機関との連携を密にした危機管理体制を構築している。	教師	16	68	10	6
		13	防災・防犯に関する危機管理マニュアルを作成し、教職員による定期的な対応訓練を行っている。	教師	12	71	6	10
	校内組織・分掌	14	教職員の分掌は、人材育成の観点を含めて適材適所に配置され、教育目標を達成するために十分に機能している。	教師	8	53	12	27
		15	学年会・教科会・科会・各種委員会での意見や提案が、学校運営に生かされるような組織運営になっている。	教師	17	53	16	14

平成20年度 兵庫県立姫路工業高等学校評価

領域	評価の観点	No	評価項目	回答者	全くその通り (%)	その通り (%)	わからない (%)	そうは思わない (%)
学習指導	自ら学び考える力	16	ものづくり・地域貢献活動・インターンシップ等、体験的学習や問題解決的学習の定着を図っている。	教師	53	43	3	1
		17	生徒が理解し自主的・意欲的に取り組める授業となるように、教科指導の在り方の工夫・改善を継続的に行っている。	教師	19	64	6	10
		18	各教科において個別指導・グループ指導等、効果的な指導形態を研究し実践している。	教師	14	57	12	17
課題教育	防災教育 安全教育	19	防災教育に関して常に高い意識を持ち合わせるよう指導し、定期的に災害に対する訓練を行っている。	教師	22	69	1	8
		20	生徒の心身の健康状態について教職員間・家庭・学校医等との連絡を密にし、適切な健康管理・保健指導を行っている。	教師	17	66	13	4
		21	生徒・教職員対象に心肺蘇生等に関する講習を開催し、緊急時の校内体制の整備に努めている。	教師	32	64	4	0
		22	校内の各施設・設備について安全点検が行われ、学校生活における安全確保および清掃等による学習環境が整備されている。	教師	14	64	12	10
	情報教育	23	情報機器の適切な取扱いと、情報ネットワークに関する有意義な活用法を身につけさせている。	教師	10	65	18	6
		24	人権尊重を基盤とするプライバシーや著作権の保護、正しく情報を取扱うモラルの向上を図るよう指導している。	教師	16	69	9	6
	人権教育 国際理解教育	25	人権・国際理解教育の観点と指導内容について、全職員対象に校内研修が行われている。	教師	6	66	9	18
		26	生徒が他者を理解し自分も大切にすることを考えさせる機会を、年間の人権LHR等に取り入れている。	教師	13	64	14	9
	特別支援教育	27	特別支援教育に関する教職員研修を実施し、特別支援が必要な生徒に対し特別支援コーディネータを中心に適切な対応をしている。	教師	14	40	22	23
	学校改革	28	各種委員会において本校の成果と課題を明確にし、今後の取り組みについて検討するとともに教職員の意識改革を行っている。	教師	8	52	18	22
その他		29	自分自身の将来のために、この学校に入学して良かったと思えますか。	生徒	37	34	18	11
		30	姫路工業高校の好感度は高い。	保護者	52	39	7	2

平成20年度 学校評価等の公表内容について

- (1) <高い評価>
・学校情報の提供、学校公開・中学校訪問・学校説明会等で学校の教育方針や教育目標を具体的に実施して
いる
(ものづくり、地域貢献活動、インターンシップ等体験的学習)
- (2) <今後の改善方策>
・生徒理解(生徒、保護者とのコミュニケーションの工夫をより深める必要がある。)
・進路指導体制改善(データに基づく進路指導)が必要である。
・教職員の資質の向上を図る。